

## 令和3年度(2021年度) 学校法人福島聖心学園各幼稚園の事業報告書

### 【法人事務所】

当幼稚園における令和3年度事業内容につきまして、下記のとおり報告いたします。

#### 1. 項目別

項目	計画(=Plan)	実行(=Do)／ 評価(=Check)	改善(=Action)
教育目的	<p>学園の教育は、聖書が教えるキリスト教の世界観、人生観に基づき、さらには聖ドミニコ修道会が大切にしてきた精神を受け継いだ人間教育。</p> <p>創造主である神から命を与えられた者として互いの命を尊重し、互いに愛し合ってより良い社会の建設、完成のために生きる人間を育てることを目指とする。そのために、日々、神と人間、そして世界について学び、神の望みに応えられる人間を育てる心の教育を行う。個々の幼稚園が活動している地域の方々に支えられ、その期待に応えようと教職員が一体になって教育に励む。</p> <p>私たちはめまぐるしく変化する世界の動きに惑わされないで、神の教えと神の助けを受けて豊かな人間を育てるために、研鑽、努力を積み、社会に開かれた学園としてあり続けることを願う。</p> <p>私たちは神の前にへりくだり、聖母マリア・聖ドミニコを保護者として真の人間教育に励む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当学園の教育理念に基づき、聖ドミニコ修道会が大切にしてきた人間教育の精神を受け継ぎ、当学園教育の使命や目的及び神の望みに応えられる人間教育について遂行することができた。</li> <li>特に学園主催の「園長・主幹・教務主任研修会」を通し、教職員への目的及び使命の共有を図ることが出来た。</li> <li>●組織連携体制の強化については、学園主催の「園長・主幹・教務主任研修会」を通し、親睦を図りつつ、各幼稚園が持ち得る利点及び検討課題等について、情報を共通することができ、縦と横の繋がり強化を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度についても、今年度同様、教育理念及び教育方針に基づき学園運営を進めていく。</li> </ul>

<p>年間行事 について</p> <p>=年間業務 内容</p>	<p>●理事会・評議員会の運営管理</p>	<p>①実施状況</p> <p>【1】法人として、新型コロナウイルス感染症対策に対応し、園児の安心安全な教育環境整備に重点を置いたこと、併せて職員の勤務対応については、働き方改革に即した勤務体制の見直し(変形労働制の再確認・コロナ禍就労に係る給与体系)を図った。</p> <p>【2】理事会:全5回 5月27日／6月8日 8月10日／11月16日 3月2日</p> <p>評議員会:全2回 5月27日 12月1日(書面会議)/3月2日</p> <p>②実行内容</p> <p>【1】上記①参照。</p> <p>【2】コロナ禍の中、「命」を最優先事項におき、会議開催及び運営に努めた。一例とし、書面会議による会議開催も行った。</p> <p>上記①の開催に際し、会議資料の準備、開催通知文準備発送、会議運営(詳細説明等含む)、議事録作成等の業務を行い、当該会議が滞りなく執行できるよう努めた。</p> <p>③評価</p> <p>【1】コロナ禍における社会の動きに対応しながら、一つ一つ丁寧に対応した。</p> <p>【2】理事会・評議員会とも、上記②の業務を遂行したことにより、各回滞りなく閉会することができた。</p>	<p>【1】コロナ禍における幼稚園運営に際し、次年度以降も、保護者・職員等に対し十分な説明責任を果たしていきたい。</p> <p>【2】会議開催に伴う運営管理業務については、次年度も今年度同様コロナ禍の状況下にあるため、「命」を最優先事項に掲げ、柔軟な体制で、会運営を実施していく考えである。</p>
--	-----------------------	--	--

<p>●寄附行為に係る各種計算書類の準備(予算書含)</p>	<p>①実行内容 決算書に係る各種計算書類(決算処理含む)の準備については、(株)若葉会計センターに業務委託を行った。 予算書作成については、学園内にて前年度決算額、月次決算額、人件費、新規事業額、行政機関からの給付額及び補助金額を勘案し作成した。</p> <p>②評価 滞りなく、寄附行為に係る各種計算書類の準備を進めることができた。</p>	<p>次年度も今年度同様継続・執行していきたいと考える。</p>
<p>●法人・幼稚園に係る会計業務</p>	<p>①各幼稚園の現金出納帳の確認 ②法人・幼稚園(現金出納除く)の会計処理     (株)若葉会計センター指導の下、適正に処理をすることができた。 ③施設型給付幼稚園の運営体制として、厳格な会計処理(保護者徴収額の明確化及び説明責任)が求められた。</p>	<p>次年度も細心の注意を払い業務を進める。</p>
<p>●給与支給業務(年末調整・給与支払報告書等含む)</p>	<p>①毎月の給与支給(25日)※休業の場合は前営業日 ②年末調整・給与支払報告書(1月31日提出期限)</p>	<p>次年度も、細心の注意を払い業務を進める。</p>
<p>●教職員福利厚生業務</p>	<p>①私学共済 ②退職金財団 ③雇用保険 ④市区町村 手続きが遅れることもなく、対応することができた。</p>	<p>次年度も、細心の注意を払い業務を進める。</p>
<p>●行政機関(区市町村)への各種補助金・給付金申請業務</p>	<p>①実行内容 福島県・いわき市・二本松市等において、下記の補助金・給付金申請を各幼稚園と連携をとり、補助金・給付金獲得に努め、学園の安定経営を図った。</p>	<p>次年度も今年度同様継続・執行していきたいと考える。</p>

		<p>【福島県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立学校運営費補助金(一般補助)</li> <li>・子育て支援推進補助事業</li> <li>・心身障がい児教育費補助事業</li> <li>・幼稚園一種免許状補助事業</li> <li>・教育支援体制整備事業費補助事業(コロナ対策)</li> </ul> <p>【いわき市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育に係る施設型給付費</li> <li>・市私立幼稚園運営費補助金</li> </ul> <p>【二本松市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育に係る施設型給付費</li> <li>・私立幼稚園教育・保育補助事業</li> </ul> <p>【福島市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育に係る施設型給付費</li> </ul> <p>②評価</p> <p>各幼稚園と連携を図り、滞りなく各種補助金・給付費申請、中間報告、実績報告を行い、学園の補助金収入の基盤(=安定化)を図ることができた。</p>	
<p>●行政機関(区市町村)への各種申請・届出・調査回答業務</p>		<p>①実行内容</p> <p>福島県・いわき市・二本松市に対し、変更申請・届出・各種調査回答業務を行った。</p> <p>【福島県(主だった申請)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人寄附行為変更認可申請</li> </ul> <p>【福島県(主だった届出)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員変更届</li> <li>・校長(園長)変更届(二本松カトリック幼稚園)</li> <li>・校地・校舎等変更届</li> </ul> <p>(勿来認可外保育=R2年度をもって廃止)</p>	<p>次年度も今年度同様、各幼稚園と連携を図り、滞りなく各種申請・届出・調査回答業務を図っていく。</p>

		<p>・登記済届</p> <p>【福島県・いわき市・二本松市(主だった調査)】</p> <p>・私立学校運営調査 等々</p> <p>②評価</p> <p>各幼稚園と連携を図り、滞りなく各種申請・届出・調査回答を行い、理事会における決定事項(=学園の方針)に即し業務を行った。</p>	
	●行政機関(区市町村)との連絡調整	<p>①実行内容</p> <p>福島県・いわき市・二本松市等からの各種問い合わせ、学園(幼稚園)運営に係る問い合わせ業務を行った。</p> <p>②評価</p> <p>双方の疑問点等の明確化を図り、学園(幼稚園)運営の基盤固めに努めることができた。</p>	次年度も今年度同様、各幼稚園と連携を図りながら、滞りなく業務を図っていく。
新規事業について	①ホームページ作成	<p>建学の精神に基づく法人(学園)ホームページを開設した。</p> <p>学園の基本理念・教育の目的等を、ホームページを通し社会に開示するツール作りができた。</p>	内容更新等を、継続的に行っていく。
	②スマートフォンの購入	<p>危機管理体制の強化を図るため、理事長・園長・事務長携帯用として導入した。</p> <p>電話機能のみならず、スマートフォンアプリを利用したメールのグループ化及びリモート会議が出来得る環境整備を図った。</p>	危機管理体制の強化を、継続的に図っていく。
	③PC・ネットワーク環境のサポート契約	<p>PC・ネットワーク環境の不具合・最適化に対応するため、サポート保守契約を結び、安定した情報環境の中で、業務を行うことが出来るようになった。</p>	今後についても、継続契約を行っていきたい。
	④排水管修繕工事(トイレ等)	<p>排水路の詰まりを改善するため、修繕工事を行った。</p>	排水路の詰まりが改善された。

教職員の 質向上に ついて (研修等への 参加含)	①「全日本私立幼稚園連合会研修会」の参加 ※リモート会議	文科省及び全日本私立幼稚園連合会からの講話を通し、少子化時代における今おかれている幼稚園の現状と将来の展望について、最新の情報を交え学び得ることができた。	少子化及びコロナ禍時代の中、守り育むべきところ、時代の流れに即し検討を要するべきところを見極めるため、日々の気づきとアンテナを高く持つことの重要性をいつも頭に置きながら、質の向上に努めていきたい。
	②学園主催「園長・主幹・教務主任研修会」の参加	学園主催「園長・主幹・教務主任研修会」の準備及び参加することにより、当法人の現況と今後の展望について、再確認することができた。	
その他			

## 2. 総括

- 令和2年度より「施設型給付費幼稚園」に移行したことを受け、教職員(非常勤含む)の勤務配置の可視化が必要となり、効率的な教職員配置に努めた。  
このことにより、安定した給付費獲得に繋げることができた。
- ①「施設型給付費幼稚園」に移行し、且つ、コロナ禍により浮き彫りされた保護者徴収額の考え方、②教育提供に関することについて、今まで以上に保護者に対し、明確な説明責任が求められた。  
このことを踏まえ、当学園の方針として、園児の成長を、園児・保護者・教職員が一体となり共に喜びを分かち合える関係性の構築のため、明確な説明責任を果たすこと、カトリックの教えに基づく教育提供に努めていくことが確認された。
- 勿来カトリック幼稚園において、入園者数の推移・地域の出生率・他施設(幼稚園・認定こども園・保育所等)の状況等を勘案し、令和4年度から『利用定員数』を75人から60人に減じ、「施設型給付費」に係る園児一人当たりの単価を上げる申請を行った。  
このことを踏まえ、令和4年度以降の勿来カトリック幼稚園における運営の安定化が図られると見込まれる。
- 安定した学園運営継続のため、法人本部と各幼稚園が密に連携を取りながら、業務遂行に努めていきたい。